

感染症関連情報

新型コロナウイルスの“いま”に関すること③

Q 新型コロナウイルスの変異について教えてください。

A 現在、従来よりも**感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株**^(※1)や、**ワクチンが効きにくい可能性のある変異株**が世界各地で報告されています。

日本では、懸念される変異株の感染者数が増加傾向にあります。各地で変異株の感染者割合が上昇しており、急速に従来株から変異株への置き換わりがおきつつある状況です。

厚生労働省では、新型コロナウイルスのゲノムを解析し、変異の状況を監視しています。世界保健機関（WHO）や専門家とも情報交換を行い、こうした変異の分析・評価を行うとともに、国内の監視体制を強化しています。また、変異株事例が確認された場合には、検査や積極的疫学調査を強化して、感染拡大防止に取り組んでいきます。

個人の基本的な感染予防策は、変異株であっても、**3密（特にリスクの高い5つの場面）の回避、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有効**です。国民の皆様には、改めて感染予防対策へのご協力をお願いいたします。

※1 英国の専門家会議の見解によると、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株は、子どもが大人よりも感染しやすいということはなく、どの年齢であっても感染しやすい可能性があるとして報告されています。

（参考）一般的にウイルスは流行していく中で少しずつ変異を起こしていきます。この変異したウイルスが変異株です。変異が起こると性質の変化が起こり、感染しやすくなる場合等があります。新型コロナウイルスについても、約2週間で1カ所程度の速度で変異していると考えられています。

2021年4月中旬時点

Q 変異株の新型コロナウイルスにもワクチンは有効？

A 一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がそのくらいあるのかについても、確認が進められています。



提供元：厚生労働省

SAITO MEDICAL GROUP



既成概念を突き抜ける私たちの強い信念と、

「患者さんと私たち、自分たちとその家族」

を象徴する2つの円が、ともに生きる姿を表現しています。



VOL.37



2021.8

発行：SAITO MEDICAL GROUP
編集制作：医療法人共生会 企画広報部
〒088-3465 川上郡弟子屈町川湯温泉 4-8-30
TEL 015-483-3121
<https://saitomedical.jp/>

川湯の森病院 近況

森の足湯清掃

川湯の森病院敷地内にある足湯は一般の方々にも開放しています。温度は38～42℃くらい、源泉掛け流しです。

皆さんに快適にご利用いただくために、2～3週間に1回の頻度で清掃を行っています。

2～3時間かけて排水しながら、湯花などの汚れをブラシで落としていきます。その後、水洗いをして再び温泉を流します。

診察や面会のときはもちろん、「ちょっと足湯まで散歩」のように気軽にご利用ください。

※ この時期はアブが飛んできますので虫よけスプレーなどで刺されないように対策してからご利用ください。



川湯の森病院

社会医療法人 明生会

医療法人社団 勝医会

医療法人 誠空会 狭山厚生病院

医療法人 麻葉会 あけとクリニック

一般財団法人 慈愛会

住宅型有料老人ホーム 森の家しらかば

社会福祉法人 てつなぎ

SAITO MEDICAL GROUP

おいしい病院食レシピ

チキンカレー

1. 鶏肉は小骨などを取り除き、一口大に切って塩コショウで味付けする。
2. 鍋でサラダ油を熱し一口大に切った鶏肉を両面色よく焼き上げる。
3. 鍋底の余分な油をふき取り、水 350 ccを入れ、ひと煮立ちしたところで鶏肉だけをいったん取り出します。
4. 鍋にカレールウを入れ弱火で溶かしながら、牛乳、バターを加えて味やとろみ加減を調整する。
5. お好みのとろみ加減になったところで、取り出しておいた鶏肉を入れ、ひと煮立ちしたらカレールウの出来上がりです。
6. 野菜を食べやすい大きさに切り、油で色よく素揚げして塩を少々ふっておく。
7. お皿にご飯を盛りルウをかけ、野菜をトッピングしたら出来上がり。

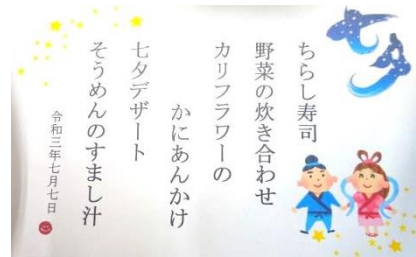


※ 分量 (5人分)

・鶏股肉	400g
・カレールウ	125g
・水	350cc
・夏の彩り野菜	適量
(パプリカ赤黄、ブロッコリー、かぼちゃ)	
ナス、ポテト など	
・サラダ油 (肉いため用)	適量
・揚げ油	適量
・塩コショウ	少々
・牛乳	150cc
・バター	50g

栄養課だより

7月の行事食は「七夕」でした。



お盆 (8月13日~16日)

忙しくにぎやかなことを「盆と正月が一緒に来たようだ」と表現することがあるように、日本においてお盆はお正月と同様にとても大切な行事として受け継がれてきました。お盆とは、ご先祖様の霊を供養し、冥福を祈る期間です。お盆期間には亡くなったご先祖様が浄土（天国）から戻ってくると考えられています。全国的には8月13日から16日ですが、一部では7月13日から16日という地域もあります。その他にも旧暦のお盆もあります。

お盆の起源

仏教の開祖であるお釈迦様の弟子が地獄に落ちた母親を救うため、7月15日（旧暦）に霊を供養した、というのが起源になっています。1400年も前、飛鳥時代です。日本では長い間、貴族や僧侶だけが行う特別な行事でしたが、江戸時代に入ると、ろうそくや提灯が大量生産されたこともあって、一般の人にも定着していきました。

古いものがどんどん新しいものに置き換わっていく、今の時代において「お盆」という文化がしっかりと受け継がれていることは、とても素晴らしいことです。



農園課だより

トマト、きゅうり、ピーマン、パプリカ、ほうれん草が収穫できます。モンキーバナナも大きくなってきました。



スタッフ募集

川湯の森病院では、介護スタッフを募集（ハローワークにて情報公開）しています。介護に興味のある方、一度見学に来てみませんか？

